

普通科目（日本史 A）の学習指導案 18No3

または日本史 B、世界史 A、世界史 B

1. 指導目標

- (1) 産業の発展の歴史について学ぶ。
- (2) 知的財産権の社会における重要性を認識させる。
- (3) 知的財産が人類にもたらした恩恵について理解させる。
- (4) 新しいものを創造する意欲を身につけさせる。

2. 指導項目・内容

	指導項目・内容	時間 (分)	指導上の留意点
導 入	・ 本時の目標を確認する。	5	・ 生活と知的財産の関係について触れ、興味づけをする。
展 開	・ はじめに 主題 5 産業技術の発達と生活 ・ 「技術」とは何だろう ・ 電気と生活 ・ 技術と生活 ・ 技術の導入	40	・ 知的創造サイクルを理解させる。 ・ 社会を変えた産業革命は、蒸気機関などの発明によることを理解させる。 ・ 電気を利用した発明品（電灯、ラジオ、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、掃除機、炊飯器など）により生活がどのように変化したかを考えさせる。 ・ アイデアを生かした独創的な製品開発の重要性を認識させる。 ・ 今後の課題を考えさせる。
整 理	・ 本時のまとめをする。	5	・ 知的財産権の社会における重要性を認識させる。
備 考	「現代の日本史 A」（山川出版・日 A004）P125～P128「産業技術の発達と生活」 「日本史 A」（第一学習社・日 A007）P78～P79「電話の普及について調べてみよう」 冊子「特許から見た産業発展史」（企画 特許庁）		